



こんにちは

日本共産党市会議員

<議会報告>

玉本なるみ

です

連絡先：日本共産党北地区委員会

☎075-432-3261

2014年4月①発行

京都府知事選挙・北区府会議員補欠選挙が終わる

選挙結果は34.45%(北区は34.91%)という低投票率でした。尾崎さんの公約は間違っていたわけではなく、伝わったところでは共感が広がりました。勝手に応援するという『勝って連』も結成され、幅広い方々の応援もありました。尾崎さんの公約が伝われば、もっと詰め寄ることができたと思います。

尾崎さんは小児科医として「子どもの貧困」に向き合い「貧困の再生産」を断ち切る為に、「地方自治体ができることは少なからずある」と立候補を決意されました。尾崎さんが立候補することで、子ども達の貧困に着目がされたことは重要だったと思います。

北区では若杉ひでおさんが、やはり低投票率の中、10708票を獲得しました。3年前の浜田府会議員の票より690票を増やし、自民党との差は6478票から1675票まで詰め寄りました。大健闘でしたが、勝利できず残念でした。相手候補は、名前の連呼ばかりで、消費税増税や原発に対する態度は何も示さず、選ばれてしまい、悔しい限りです。

尾崎さんは報告会で、「選挙は府政の転換を行う上で重要だが、府政を変えるのは選挙だけではない。もう一度診察に戻って社会福祉の後退を許さず、子どもの貧困を無くすために頑張る」と決意を述べられました。森川弁護士は閉会の挨拶で、「事実を突き詰め審判を下す裁判なら、勝っていた。しかし、選挙では、そうはいかない。しっかりと、総括をおこない、選挙でも勝てるように頑張っていきたい」と決意を述べられました。



報告集会であいさつする尾崎さん

黙っていたら、消費税は10%に・・・!

4月1日から、とうとう消費税が8%となりました。反対の声をあげていた人は、がっかりした方も多と思います。

しかし、黙っていたら、来年秋には10%となること、計画されています。今こそ、声をあげて増税をやめさせ、5%に戻させようと訴えてきたことは、共感の声があがっていました。

北区の商店街のあるお店が、3月31日を持って閉店し、4月1日は片づけをされてました。どんどんシャッターが閉まり、商店が減っていきます。「消費税増税されたらやめる。息子はいるけど、継いでくれと言えないし、継ぐとも言わない。私の代でこの店はやめる。」と言われた言葉が忘れられません。こんな悲しい事を国民に言わせる政治は間違っています。今こそ声を上げるときです。



右から玉本、若杉、浜田、井坂4月7日朝宣伝

つぶやき：青年の働き方

保育士として、正規職員とほぼ同じように働いているのに、非正規で働いており、給料が少なく、夜は飲食店でダブルワークをしている女性。大学、大学院の時に借りた奨学金の返済が600万円あり、毎月の返済に苦しむ青年……。結婚したくても、貯金がなく、できない。子どもは育てるのにお金がかかるし、できない等……。このままでは、絶対にだめだ。



手作りの菜の花畑に要求がいっぱい。



い良れまい年です。けさなうようです。さういいます。いこうやと、思

子どもとの生活
アンテナ
早朝のお弁当作りが、4月1日から再開しました。これまで、長男はインターネット通信の高校に在籍していた為、ほとんどが家にいて、お弁当箱に入れなくてもよく、むしろ入れたら、食べてなくて、ガツカリすることもあり、入れなくなりまし

